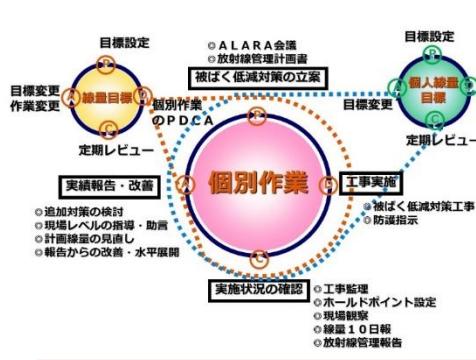
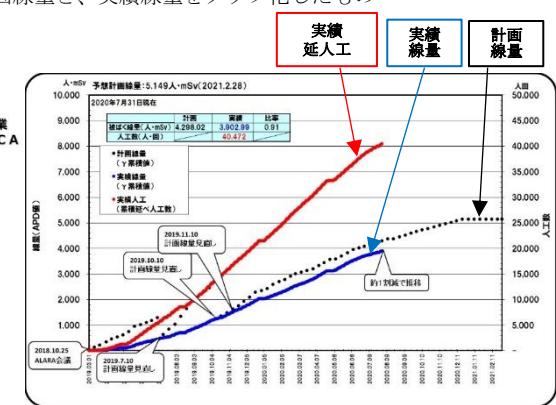


場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集									
原子炉建屋内	R B	Z	1 時間										
タービン建屋内	T B		2 距離										
R ZONE	R		3 遮へい										
Y ZONE	Y		4 線源の除去										
G ZONE	G		5 遠隔、ボット化										
その他	( )		6 汚染拡大防止	番号	0 2 - 1 0								
	Z		7 その他										
内 容		A L A R A活動											
作業場所		1 F 構内											
概 略		A L A R A活動として被ばく低減プロセスを通じて P D C Aを回し被ばく低減を図っている。											
評 価 (定性・定量)	効 果	対策前		対策後									
		被ばく線量(mSv)		—									
		人工数(人日)		—									
事例詳細													
■概要説明													
A L A R A活動とは、総計画線量0.5人・Svを超えるまたは、個人線量1.5mSv/年度を超える工事件名について以下のP D C Aを回すことで計画の精度を向上させ、被ばく低減を図るプロセスである。													
[P]被ばく低減対策の立案													
・A L A R A会議を開催し、被ばく低減対策の妥当性について審議													
・放射線管理計画書のレビューを行い、計画線量等の妥当性確認													
[D]工事実施													
・被ばく低減対策工事													
[C]実施状況の確認													
・現場観察を行い、採用した被ばく低減対策の効果を確認													
・追加の被ばく低減対策必要の有無を確認													
・線量10日報※を作成し、10日毎に計画線量と実績線量の乖離を確認													
・期間の長い工事については、A L A R A会議中間報告会を開催し、被ばく低減対策の実績を確認													
[ア]実績報告・改善													
・現場観察で抽出した良好事例と改善事項を共有し、作業に反映													
・線量10日報※に有意な差が生じている場合は、原因を追究し、必要な対策と計画線量の見直しを実施													
・A L A R A会議報告会（中間報告会含む）から得られた知見を共有し、作業に反映													
※線量10日報とは、10日毎に積み上げた累積計画線量と、実績線量をグラフ化したもの													
 <p><b>被ばく低減プロセス</b></p>													
 <p><b>線量10日報</b></p>													

編集：東京電力ホールディングス株式会社